

海外向けネット通販で日本の商品を世界の消費者へ (株式会社 ナビバード)

会社概要(平成25年5月現在)

- 所在地:大阪市中央区久太郎町2-5-12
- 代表者:代表取締役社長 山中和也
- 資本金:8,032万円
- 売上高:非公表
- 従業員数:10名
- URL: <http://www.navibird.co.jp/>

①事業概要

< 海外向けB to Cネット通販 >

株式会社ナビバードは、平成16年設立の海外向けB to Cのネット通販事業者。主に女性向けのファッションや雑貨を扱い、多言語対応(日本語、英語、中国語)のサイトを通じて、日本で流通している商品を海外の消費者に販売する。

アジア・北米を中心にプロモーションを行っているが、ネットのため広がりがあり、世界各地で販売実績を持つ。

②海外展開概要

< 海外に特化したビジネス展開 >

代表者がオーストラリアに赴任した際、現地で買いためた品がサイズや品質の面で日本製品と大きく違い、必要な品を日本から取り寄せるのに苦労したという個人的な体験から、海外にいる日本人駐在員や日本ファンに日本製品を販売するというビジネスモデルを考案。通信販売を勉強し、会社を設立した。

「JSHOPPERS.com」という店舗名で展開し、レディース向けのファッションや雑貨、ビューティー商品を中心に扱う。当初から国内販売は考えず、対象はもっぱら海外の消費者。約50万人の会員のうち、8割が女性で、20代～30代がメインターゲット。日本人の利用者は少なく、ほとんどが海外ローカルの消費者である。

売上はアジア・北米・豪州で半分以上を占めており、約120カ国への販売実績がある。毎日、海外から注文のあった商品が当社の倉庫に届き、注文者ごとにパッケージして、夕方、発送する仕組み。サイトでの価格表示や決済は日本円で行っており、為替リスクは消費者側の負担になっている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

注文者の想定以上に関税がかかると再利用してもらえないため、関税がいくらになるかを事前に案内するなど、顧客サービスを工夫している。

また、中国の青島に子会社を設立し、バックオフィス業務を行っている。メールやチャットにも対応し、フェイスブックなどのSNSを通じて情報を発信している。

サイトへのアクセスを促すため、1～2ヶ月に一度はアジアを中心に海外へ出張して、現地の新聞・雑誌やポータルサイトを通じたプロモーションに力を入れている。

海外の拠点には、マネジメントのため、日本から社員を派遣しているが、人材確保は難しい。

④今後の事業展開について

新たに、プラモデルやフィギュア、ゲームなどのアキバ系商品の取扱いを準備中。また、東日本大震災の後、一時中断していた食品の扱いも再開する予定。食品は日本人の利用率が高い分野で、「食品を扱ってほしい」という要望が多い。

さらに、海外発送に対応していない日本の通販サイトに対して、商品の海外への発送を代行するサービスも検討している。



▲「JSHOPPERS.com」の画面



▲青島事務所での顧客対応

(平成25年5月現在)

データ出所: 近畿経済産業局